

建設業界のカワラ版

大建協玖珠支部・県土木施工管理技士会玖珠支部

労災防止策や担い手確保の理解深める

6年度安衛・技術管理講習会

大分県建設業協会玖珠支部(支部長:井原昭文)と大分県土木施工管理技士会玖珠支部は11月20日、大分県玖珠総合庁舎にて令和6年度安全衛生管理・技術管理関係講習会及び意見交換会を開催。各社の技術者と県玖珠土木事務所職員らが合同で、講義やグループ討議を通じ労災防止や担い手確保の方策について理解を深めた。

当日は、大建協玖珠支部の会員や公月測量設計(株)の技術者、県玖珠土木事務所の職員ら60名が出席。主催者あいさつに立った井原支部長は、「年末の慌ただしい時期こそ災害が起こりやすくなる。当支部や土木事務所の職員に加えて、コンサルタント業の方々にも建設工事業を知っていただく良い機会になれば」と、同講習会にコンサルタント業者として初参加となる公月測量設計(株)を紹介した。

来賓からは中山洋祐県玖珠土木事務所長が「我々も、今日の講義を通じて、安全管理や担い手確保といった答えの出ない難題に向けて話し合うことが大事だ」と、受発注者が問題意識を共有し、より良い形を模索することの重要性を強調した。

講習会では、井俣潤哉日田労

働基準監督署労働基準監督官が『労働災害の防止』、田邊雅一県玖珠土木事務所建設・保全課企画・道路班主幹が『各種制度、現場の安全管理、リサイクルガイドライン(建設発生土)』についてそれぞれ講演。休憩後のグループワークでは、『担い手不足等について』をテーマに、数班に分かれて討議。各班で出された意見を発表しあった。

